



平成20年度 町民スポーツ大会 (10/13)

今年は、6地区約200人が参加して、綱引きやむかで競争、グラウンドゴルフ、水汲み競争など子どもから高齢者まで楽しめる競技が行われました。

南伊豆地区一市三町

合併協議会開催

第五回合併協議会開催

十月八日（水）午後一時三十分から河津町役場議場で、第五回南伊豆地区一市三町合併協議会が開催されました。

報告事項として

①新市の名称及び事務所の位置選定小委員会経過報告

九月八日（月）に第四回小委員会が開催され、名称候補一般公募の準備進捗状況の確認と、新市の事務所の位置選



定について、各市町が作成した耐震改修促進計画を学習したことが報告されました。

②新市基本計画策定小委員会経過報告

十月三日（金）に第四回小委員会が開催され、各市町の合併への基本方針、合併協議会委員等からの意見聴取を総合して作成した草案についての確認と、公共施設適正配置検討のため、南伊豆町内を視察したことが報告されました。

協議事項として

①各種事務事業の取扱い（電算システム）について

前回提案内容に基づいて協議が行われ、提案どおり住民サービスの低下を招かないように、合併時に電算システムを統合するとともに、ネットワークの整備を図る。

ただし、単独処理業務システムについては、関連する事務事業の調整方針に基づき調整することが確認されました。

②各種事務事業の取扱い（広報広聴関係事業）について
前回提案内容に基づいて協議が行われ、提案どおり左図のように確認されました。

広報誌	・下田市の例により調整
お知らせ版	・松崎町の例により調整
市勢要覧及び市勢概況	・新市において作成
ホームページ	・新市発足の日の公開に向け調整
広聴事業	・下田市の例により調整

提案事項では

①地域自治組織の取扱いについて

新市において地域住民の意見を行政に反映させ、地域の特性を活かした新たなまちづくりを推進するため、合併時に旧市町単位の設置する。なお、設置期間は当面合併後十年間とし、その後の取扱いについては、制度を評価のうえ決定する。また、地域自治区ごとに投資的事業及び住民要望に迅速に対応するための事業費を確保し、合併前におけ

る基金（貯金）、地方債（借金）残高の財政状況を考慮しながら、旧市町単位で配分することなどが提案されました。

②地方税の取扱いについて

個人市民税、法人市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税などの税率は一市三町で同一であるため、現行のとおり新市に引継ぎ、減免や納期などについては調整を行うことが提案されました。

③特別職の身分の取扱いについて（その一）

市長、副市長、教育長及び行政委員会委員の特別職については、法令に特例の定めがある場合はその規定を適用し、規定のない場合は新市において選任するなど特別職の身分について提案されました。

④各種事務事業の取扱い（消防防災関係事業）について

地域防災計画については、新市において速やかに策定し、防災行政無線については、合併時までに統合整備計画書を策定し、新市において整備する。また、自主防災組織については、現行のとおり新市に引き継ぐことなどが提案されました。

⑤各種事務事業の取扱い（交通関係事業）について

自主運行バス事業については、新市において継続し、交通安全対策事業については松崎町の例により調整することが提案されました。

⑥各種事務事業の取扱い（温泉事業関係）について

温泉事業関係については会計を持っているのが松崎町と河津町しかなく、現行のとおり新市に引き継ぐことが提案されました。

⑦各種事務事業の取扱い（その他事業）について

情報公開・個人情報保護制度については、公正で開かれた市政を推進するため、合併時に制定することが提案されました。

第六回合併協議会のご案内

第六回南伊豆地区一市三町合併協議会は、十一月十二日（水）午後一時三十分から、松崎町環境改善センターにおいて開催されます。会議は、公開で誰でも傍聴ができますのでご来場ください。

【問合せ】

企画観光課（42） 3964



松崎町代表チーム 登録選手決定!



12月6日(土)10時スタート
みんなので応援しましょう!

県内三十八市町四十五チームが参加し、タスキをつなぐ第九回静岡岡崎市町村対抗駅伝競走大会が十二月六日、静岡県庁前をスタート、草薙陸上競技場をゴールとする十一区間四十二・一九五キロのコースで行われます。

大会に参加する松崎町チームの監督、コーチ、登録選手がこのほど決定しました。七月から、本番に向けて毎週水曜日の夜、松崎小学校で合同練習をしています。練習、本番とも皆さんのご声援をお願いします。

<p>コーチ</p>  <p>稲葉清彦さん (伊豆急行) -山口-</p>	<p>監督</p>  <p>土屋武彦さん (下田中教諭) -南郷-</p>
--	--

第7区
中学生(男子)

	
船津弘貴くん (松崎中3年) -船田-	石田達也くん (松崎中3年) -江奈1-

第3区
小学生(女子)

	
平野文珠さん (松崎小5年) -櫻田-	高見育美さん (松崎小4年) -道部-

第2区
小学生(男子)

	
渡辺寛也くん (松崎小6年) -道部-	関 俊也くん (松崎小6年) -雲見-

第4区
40歳以上(男女不問)

	
石田與三郎さん (稻生沢小職員) -櫻田-	石田英雄さん (中川小教諭) -江奈1-

第6区一般(女子)

	
土屋貴子さん (静岡大2年) -南郷-	高見志穂さん (東京外国語大2年) -道部-

第11区一般(男子)

	
佐藤文彦さん (西伊豆中教諭) -雲見-	佐藤真一さん (稲栞中教諭) -金沢-

第8区中学生(女子)

	
渡邊美由紀さん (松崎中3年) -石部-	桐山智江さん (松崎中3年) -宮内-



写真提供：静岡新聞社

第5区・第10区ジュニアA・B
(男子)

		
石井一希くん (松崎高1年) -金沢-	佐藤玖昭くん (松崎高3年) -山口-	石田和也くん (松崎高3年) -江奈1-

第1区・第9区ジュニアA・B
(女子)

		
高見美喜さん (松崎高2年) -道部-	稲葉くるみさん (下田高2年) -山口-	関まどかさん (松崎高1年) -雲見-

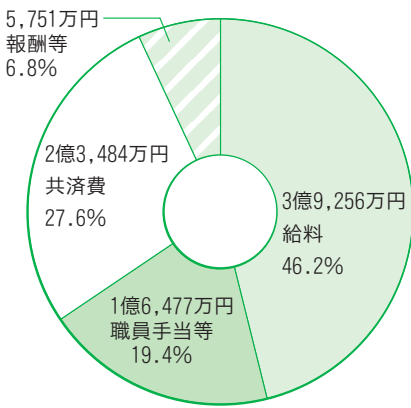
町職員給与等の状況

町では、住民の皆さんに町行政についての理解を深めていただくため、行政情報の開示を行ってまいります。その一環として町職員の給与等の状況を公表します。町職員の給与は、国及び他の市町村並びに民間事業所の給与等を考慮して定めるよう地方公務員法に規定されています。

平成十九年度普通会計決算に占める人件費の割合は左図に示すとおりで、歳出総額三十五億七千六百二十五万円のうち、二十三・八%にあたる八億四千九百六十八万円が人件費となっています。



平成19年度 普通会計決算 人件費総額 8億4,968万円



●●●職員の平均給与月額・平均年齢

一般行政職		技能労務職	
平均給与月額	平均年齢	平均給与月額	平均年齢
332,658円	41.6歳	269,741円	48.9歳

(平成20年4月1日現在)

●●●初任給

区分	金額
行政職一般	大学卒 172,200円
	高校卒 144,500円
の年採用採用後二の経給料過後二額	大学卒 184,200円
	高校卒 154,400円

(平成20年4月1日現在)

●●●期末・勤勉手当

区分	6月	12月	計
期末	1.40月分	1.60月分	3.00月分
勤勉	0.75月分	0.75月分	1.50月分

(平成20年4月1日現在)

役職により課長職15%、課長補佐・係長相当職10%、主任主査相当職5%が月額に加算されます。

この人件費は町職員に支払われる給与のほか、町議会議員や各種委員などの特別職に支払われる給与、報酬も含まれており、国家公務員等の給与水準と比較したラスパイレズ指数は九二・五(平成十九年度)となっています。また職員定員管理計画を策定し、平成十七年度に百九人だった職員を平成二十二年度までに八十八人に削減し、人件費の抑制を図ります。

【問合せ】
総務課(42) 3963

●●●給与費等の状況(平成19年度普通会計決算)

職員数	給与費等				1人当たり給与費(B/A)
	(A) 給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
93人	3億5,150万円	3,240万円	1億3,237万円	5億1,627万円	555万円

※特別職・臨時雇用分は含んでいません。

●●●特別職の報酬

区分	月額	期末手当	年間支給額
給料	町長 612,000円	給料月額 ×1.15(役職加算) ×4.40月分	10,440,720円
	副町長 495,000円		8,444,700円
	教育長 437,000円		7,455,220円
報酬	議長 273,000円	給料月額 ×1.15(役職加算) ×3.25月分	4,296,337円
	副議長 208,000円		3,273,400円
	議員 187,000円		2,942,912円

(平成20年4月1日現在)

●●●一般行政職の級別職員数

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
標準的な職名	主事 主事補	主任主事	主任主査	係長	課長補佐	課長	
平成20年度	10人	7人	7人	10人	8人	8人	50人
平成19年度	7人	12人	11人	11人	7人	8人	56人

(各年度とも4月1日現在)

第二十五回 長八まつり

長八まつりは、漆喰を饅頭に描き芸術の域まで昇華させた、伊豆の長八を称え、記念するイベントとして毎年実施されています。

第二十五回目となる今年は、第九回全国漆喰饅絵コンクール、ナイトミュージアム、供養祭や長八フェスティバルなど例年開催しているイベントに加え、美術館周辺の空き地を利用して町内外の飲食店と芸術家が集う「EAT&ART」や、伊那下神社境内にて骨董市が同時開催され、たくさんの方で賑わいました。



大盛況だった「EAT&ART」会場

第九回全国漆喰饅絵コンクール



最優秀賞に選ばれた「くらやみ祭」

今年は、北は秋田県から南は沖縄県まで十九都府県から五十二点の応募がありました。九月九日に富山大学丹羽洋介教授や美術評論家安達めぐみ氏、地元彫刻家平馬学氏、長八作品保存会関賢助氏らが審査を担当しました。最優秀賞には、熱海市在住の左官業鈴木公一郎さんが描いた、東京都府中市で毎年五月に行われる「くらやみ祭」が輝きました。

第二十五回 長八フェスティバル

九月二十八日(日)には、入江長八の菩提寺である浄感寺で供養祭が営まれ、招待者や関係者などが出席して墓前に献花や焼香を行い、功績をたたえました。

供養祭終了後、伊豆の長八美術館駐車場や伊豆文邸で、第二十五回長八フェスティバルが行われました。

フェスティバルでは、饅絵の制作体験コンクールや、「光る泥だんご」の出来栄を競う左技士選挙権をはじめ、地場産品の直売や牛原太鼓の演奏など多彩な催しが行われ、多くの来場者で賑わいました。



浄感寺で営まれた供養祭

まつぎきつ子 通学合宿

九月二十五日から二十七日まで二泊三日の日程で、松崎高校の宿泊施設「龍門館」を会場に「まつぎきつ子通学合宿」が行われました。

本年度は、松崎・中川両小学校で、四年生から六年生に募集をかけ、五十八人の児童が参加しました。

「通学合宿」とは年齢異なる子どもたちが共同生活しながら学校へ通う事業です。

家庭を離れた環境で、仲間と協力し、自分たちの力で生活体験をすることにより、日常生活に必要な生活能力を習得することを目的としています。また、子どもの活動を地域の大人が支援することにより、地域と子どもとの交流を深める狙いもあります。

松崎町では、今年で三回目の実施となります。今回は、松崎高校「龍門館」に宿泊することもあり、松崎地区女性会の方に協力をお願いしました。子どもたちは、食材の買い出しや食事づくり、うわば



き洗い、風呂そうじなどを行いました。お米をとぐことやうわばきを洗うのが初めてだった子もいましたが、友達の手伝いを見たり、女性会の方に助けてもらったりしながら自分の力で活動しました。普段はあまり自分ではやらずに家の人にやってもらっている活動も、実際にやってみることでその大変さを理解したようでした。

また、女性会の方から、「エゴ」についての話を聞き、自分たちでもできることが多くあることを学びました。

石部棚田 赤根田村百笑の里 収穫祭

石部地区の子ども会十五人も
収穫祭に参加



松崎高校の生徒も収穫祭に参加し
稲刈りを体験

十月四日(土)、五日(日)の両日、石部の棚田「赤根田村百笑の里」で収穫祭が行われました。

秋晴れの中、オーナーと地元住民や松崎高校の生徒が協力して、黄金色に実った稲をかま刈り取り、竹を組んだハザに掛けていきました。

今年度は、過去最高となる百組のオーナー、四十四口のトラスト会員の申込みがあり、収穫祭には県内外から延べ約四百人が参加しました。

収穫された稲は、十日ほど天日で乾燥させ、脱穀、精米し、オーナーには二十^キ、トラスト会員には五^キをそれぞれ十一月初旬に送付するため、作業が進められています。

現在、四・二^キの棚田の内、一・五^キが復田され、二百三十枚を水田として利用し、その内の百枚をオーナー制度による耕作に利用しています。来年度のオーナー募集は、十一月一日から二月二十八日までの期間で行われます。

全国棚田サミット 平成二十二年開催地に決定

十月十六日(木)から三日間にわたり長崎県雲仙市と長崎市で開催された第十四回国棚田(千枚田)サミットで、平成二十二年(第十六回)の開催地が松崎町に決定され、正式に発表されました。

棚田サミットは、全国約六十の市町村と棚田の保全などに取り組む団体や個人が加盟する「全国棚田(千枚田)連絡協議会」が主催し、平成七年から棚田を持つ市町村で毎年開催しています。

棚田サミットでは、全国からの参加者たちが棚田を視察し、保全や活用に向けた取り組みの事例発表や意見交換などが行われます。

町でも、県内で初めてとなる今回のサミット開催を、石部棚田赤根田村百笑の里や松崎町を全国に発信する絶好の機会と捉え、関係機関と協力しながら、開催に向け取り組んで参ります。

【問合せ】
企画観光課(42) 3964

松崎文芸

俳句

秋深し河原の小石見ゆる日よ
彼岸花仏は遠くなりにつけり
本棚の金の背文字や秋の暮
イベントに焼く椎茸の匂ひ満つ
里暮れて風出穂の香を配りけり
栗拾い欠けしひとつのみつからず
在りし日の母を思うや茸飯
松茸に縁なく生きて卒寿こゆ
紅赤の甘藷掘上げ日本晴
畑帰り暮れの河原に野菊摘む
予期せぬに籠いっばいの茸かな
竹筒の花の一つや吾亦紅
てっぺんに胸張る鴉の鳴初め
憂きことを一時忘るる秋夕焼
旅の宿夕餉は茸づくしかな
初採りの茸分け合うパーベキュー
秋風林途切れし会話つなぎけり

- | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|-----|------|------|-----|------|------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|
| 山本武男 | 小林忠男 | 小林一男 | 佐藤享 | 細矢金治 | 山本一詞 | 石田宏 | 稲葉文字 | 稲葉菊恵 | 依田ふじ枝 | 土屋規矩子 | 吉岡うた子 | 夏目和子 | 鈴木すみ江 | 清水高子 | 松田美智子 | 斎藤みつ子 |
|------|------|------|-----|------|------|-----|------|------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|

妊婦健康診査の 助成を拡大します

妊婦健診については今年度から、公費負担が2回から5回に増えましたが、10月からは助産所や県外への里帰り出産でも助成を受けられることになりました。

町が委託契約していない医療機関(県外の医療機関・助産院等)で妊婦健康診査を受けたい場合は、あらかじめ健康福祉課に申請していただき、決定通知書を受け取って下さい。

【問合せ】
健康福祉課(42) 3966

まちなのびろいっく

松本市安曇地区

親善訪問団来町

九月二十七日(土)、二十八日(日)の二日間の日程で、松崎町と地域交流を行っている松本市安曇地区より訪問団十八人が松崎町を訪れました。一行は、光る泥だんごづくりを体験したり、牛原山や松本市の旧開智学校と姉妹校になつている重文岩科学校、伊豆の長八美術館周辺で開催された第二十五回長八フェスティバルを見学しました。



第三十四回雲見温泉

海賊料理まつり

十月十二日(日)、第三十四回雲見温泉海賊料理まつりが雲見海岸で行われました。当日は、好天にも恵まれ、大勢の行楽客で賑わいました。このまつりは、戦国時代、雲見地区から北条氏に船や鯨を献上したという故事にちなみ行われているもので、クジラに見立てたカジキマグロが豪快に解体され、イカの刺身とともに振舞われました。



中川小学校

稲刈り作業

十月十六日(木)、中川小学校では、校舎近くの田んぼで育ててきたもち米の収穫作業を行いました。五年生十八人は、地元農家の方に指導を受けながら大きな実を付けた稲を刈り取っていききました。収穫したもち米は、十二月におもちにして、中川地区の一人暮らしの老人世帯の皆さんに児童から届けられます。



鳥の巣箱づくり

十月十九日(日)、牛原山町民の森を会場に「秋の森づくり県民大作戦」が行われました。

静岡県主催の事業で、菊地賀茂農林事務所長以下十人の県職員や森林組合員が講師となり、小学生以下の子どもを対象に鳥の巣箱づくり、大人を対象にスギ・ヒノキの枝打ち、間伐体験を実施しました。

午後から、牛原山に見学に行くと、約三十人の子どもたちが鳥の巣箱を完成させたところでした。完成した巣箱を見ると、マジックでいろいろな絵が描かれていました。

子どもたちは、講師とともに巣箱を設置するところを考えながら、林内散策に出かけました。

私の子どもの頃は、巣箱が周囲の環境に馴染むように木の皮や小枝などを貼り付けて迷彩を施し

ました。

設置場所も小鳥が外敵から身を守るため、できるだけ高いところに設置しないと営巣しないという知識を上級生から教えてもらいながら巣箱を設置したことを思い出しました。

現在は、昔と違い工作道具も多く、簡単に作り、設置できるので、マジックで描かれたいろいろな絵にも迷彩効果があるのかなと納得した次第です。

町長室からこんにちは ⑧3

松崎町長
深澤 進



21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

町の人口と世帯

(平成20年9月30日現在)
()内は前月比

総人口	8,189人	(-13人)
男	3,889人	(-4人)
女	4,300人	(-9人)
世帯数	3,147戸	(-1戸)
転入	13人	転出 15人
出生	3人	死亡 14人

町の交通事故

平成20年9月30日現在
()内は前年同月比

人身事故	1件	(-1)
物損事故	8件	(-3)
死者	0人	(±0)
傷者	2人	(±0)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
江奈3	北村よし子	73	正 浩
宮内	杉山つる ^記	80	西村和美
櫻田	関 とし	105	久 子
南区	松田佳三	74	伊三雄
野田	山本芳子	90	恭 平
石部	高橋長二	71	努
伏倉	眞野 穎	81	裕 一
池代	鈴木うら	99	陵 令
西区	藤井せい	87	稔
江奈2	石田嘉彦	81	隆

戸籍だより (9月届出分)

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
那賀	輝 ^{てる} 希 ^き	男	石田真吾
指川	航 ^{こう}	男	山本慶一郎
雲見	結 ^ゆ 芽 ^め	女	菅村龍哉

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

保健師だより

子宮がん検診を受けましょう!

子宮がんには、発生場所や特徴などが異なる子宮頸がんと子宮体がんの二種類があります。

子宮がん検診では、子宮頸がん検診を行います。問診・視診・内診に加え、子宮頸部の組織を採取し、がん細胞の有無やその種類を調べる「細胞診」を実施します。

子宮頸がんは、子宮がん全体の約七割を占めます。三十〜四十歳代に多く、この世代では十万人あたりで十〜十五人がかかる病気です。また二十歳代でも急増しています。

初期症状はまったくなく、進行すると月経とは無関係に出血したり、異常なおりものが増えます。細胞診で正常な細胞が、がん細胞になる前の変異(異型細胞)を診断でき、早期発見しやすく、完治しやすい病気です。

十一月から子宮がん検診が始まります。対象となる方(今年度偶数の年齢になる二十歳以上の女性)は早期発見・早期治療のため受診しましょう。すでに対象となる方には通知してありますが、まだ通知が届いていない方は健康福祉課までご連絡ください。

姉妹都市通信

帯広市から

黄金色に輝くカラマツ防風林

九月の中旬に大雪山系で始まった紅葉は次第に山を降り、十月の中旬には平野で見ごろを迎えます。

市街地では街路樹のカエデやナナカマドなどの葉が色づき、私たちの目を楽しませてくれます。

紅葉が終わりかけた晩秋の十一月には、広大な畑の中に防風林として植えられているカラマツが黄金色に染まっています。

カラマツは、マツ科の中では珍しい落葉木です。

霜の降りた朝、朝日に照らされて黄金色にキラキラと輝くカラマツは、ここでしか見ることができない素晴らしい風景です。

しかし、風害を防ぐために植えられたこのカラマツも、農業の近代化とともに伐採が進んでいます。

帯広らしい風景が減ってしまうことはとても残念に思います。

カラマツは、富士山にも生育しておりフジマツの別名もあります。

富士山でこのカラマツを見る機会がありましたら、帯広の黄金色に輝くカラマツ防風林を思い出してください。

帯広市政策推進部

広報広聴課

森川 芳浩

